NPO 法人
山外三記念
2007 年
秋号
すまい・まちづくり文庫レター

2007 年秋季　第 21 回
すまい・まちづくりフォーラム関西 21　　秋季フォーラムの 御案内
―　地球温暖化問題と持続可能なまちづくり　―

講演　　植田和弘　京都大学大学院教授
コーディネーター　中林　浩　平安女学院大学教授

2007 年現時点での地球温暖化問題の焦点はなにか、環境問題の若きオーソリティ植田和弘さんにたっぷりと語ってもらいます。気候変動の問題がクローズアップしてから十数年たちます。近年ずいぶん様相が変わってきたのは、猛威をふるうハリケーン・台風が頻発し、生物界の異変も各所でみられるようになり、いよいよ危機の前兆が顕著になったことです。それとともにこの問題に対する認知度が急速に高まったことです。地球の滅亡が一般の人に見え始めてきたのです。ＥＵはいうまでもなく、各国の中央・地方政府には温暖化防止のための積極的な動きをするところも増えてきました。しかし、グローバルな社会的合意は困難をきわめています。先進国間、先進国と途上国、多国籍企業と民衆、国家内と各地域……さまざまな合意が必要です。なんらかのかたちで地球上の 60 億人が合意する必要があります。とはいえ禁欲主義をしいるような合意が不可能なのも事実です。多様な主体がポジティブに合意する方途はないものでしょうか。そうしたなか、社会的合意を都市や住宅のカタチを考えること、まちづくりの課題は大きなウェイトをしめています。より高い質の生活をめざしつつ地球の危機を救う方途はなになのか考えてみましょう。

【講演者プロフィール】

＜専攻＞ 環境経済学・財政学
京都大学博士（経済学）・大阪大学工学博士

＜ 略 歴 ＞
1952 年　香川県生まれ
1997 年　京都大学大学院経済学研究科教授
ロンドン大学および未来資源研究所へ留学（1985 ～ 1986 年）
国際公共経済学学会賞受賞（1992 年）
中央環境審議会専門委員会（1997 年～）

＜主な著作＞
『環境と経済を考える』（岩波書店、1998）
『環境経済学への招待』（丸善ライブラリー、1998）
『岩波講座都市の再生を考える５都市のアメニティとエコロジー』（編集）（岩波書店、2005）

『西山外三の住宅・都市論』と『昭和の日本のすまい』割引のご案内

二つの出版物とも西山文庫に注文いただければ、著者割引でそれぞれ 3000 円と 4000 円、送料無料でお届けします。①メール：npo@n-bunko.org ②ＦＡＸ：0774-73-5701 へお申し込み下さい。

【実施概要】

日時：　2007 年 10 月 2 日（土）
時間：　午後 1 時半～ 4 時半（受付午後 1 時）
場所：　梅田スカイビルタワーウエスト 22 階
詳細は　http://www.n-bunko.org/

目次 -Contents-

秋季フォーラム案内　1
春季フォーラム報告　2
地域便り－まちづくり最前線　8
／川上　光彦
私と西山外三　11
／宮本　憲一
トピックス－西山外三の足跡を訪ねて－　13
／松本　滋
研究室紹介　14
／大阪市立大学小伊藤研究室
書評　15
／三村　浩史
文庫よりお知らせ　16
●青木先生逝去
●文庫総会報告
●出版記念パーティ報告
●編集後記